

ちいちゃんのかげおくり第1時

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

めあて

出てくる人はだれだろう。
かげおくりって何だろう

文①～⑨

出てくる人

お父さん お母さん
お兄ちゃん ちいちゃん

ちいちゃんはいくつくらいだろう

児童の考えを書く(個から全体へ)

かげおくりってなんだろう

- ① 天気
- ② 見るもの
- ③ すること
- ④ 見えるもの

どんな場面

お父さんが戦争に行く前の日
先祖のはかまいり

今日の勉強で分かったこと

中心となる学習活動
登場人物と場面設定を読み取る。
ちいちゃんの年齢を想像させることで、その後の話でちいちゃんと同化するようにする。

発問1
読みながら「だれが出てくるお話ですか」とアンダーラインを引かせながら確認させる。

発問2
ちいちゃんは何歳くらいか考えさせる。ノートに何歳、根拠を書く。

学び合い
ちいちゃんは何歳くらいか、グループになり根拠と一緒に発表する。

発問3
かげおくりを考えさせる。天気は第4場面の対比で重要なので押さえておく。

発問4 (次時へのつなぎ)
戦争に行く前の日ということを押さえ、次時の両親の気持ちにつなげる。

ちいちゃんのかげおくり
あまん きみこ 作

めあて

ちいちゃんの家族がなかよく
かげおくりしている場面を読
もう

文⑩から⑳

かげおくりの日はどんな日ですか

お父さんが戦争に行く日

ちいちゃんには分からない

だれが言っているのか考えよう

「ひとおつ、ふたあつ、みいつ」

「ようつ、いっつ、むっつ」

「ななつ、やあつ、ここのつ」

「とお」

4人の気持ちを考えよう

お父さん
今日の記念写
真だなあ

お父さんの気
持ち

お母さん
大きな記念写
真なこと

お母さんの気
持ち

ちいちゃん、お
にいちゃん
すごおい

ちいちゃん、お
兄ちゃん

今日の学習で分かったこと

中心となる学習活動
ちいちゃんの家族が仲よくよりそって楽
しそうにかげおくりをするイメージを共
体験する

話し合い1 活動1

4つの言葉はだれが言っているのか
考えて読んでみよう。役割分担して読
んでみよう

発問2 活動2

かげおくりをしている4人の気持ち
を考えよう。ノートに書いてみよう。
ノートに書いたら意見を発表してみよ
う

発問3

今日の学習で分かったことを書こう

ちいちゃんのかげおくり
あまみ きみこ 作

めあて
だんだんはげしくなった戦争が
ちいちゃんからうばったものは何だ
ろう

文②⑤〜③⑥

次の日（かげおくりをした次の日）

お父さん
お母さん 「体の弱いお父さんまで、
戦争に行かなければなら
ないなんて」

遊び かげおくり

お兄ちゃんと
かげおくりをしながらちいちゃんの
願いを考える

けれど
空・・・とてもこわいところ

かげおくりなどできない

かげおくり

←
家族4人の記念写真（楽しかった思い
出）

今日の学習のまとめ
せんそうがちいちゃんからうばった
もの

中心となる学習活動
お父さんを見送るときの家族のそれぞれ
の気持ちを考える。戦争が激しくなりかげ
おくりができなくなったことかあら戦争
がちいちゃんから奪ったものを考える

発問1
前日に何をしたのか確認しよう。

発問2
戦争に行くお父さんを見送る家族の
気持ちを考えよう

発問3 話し合い1
かげおくりをしているちいちゃん
の願いを想像しよう。
自分の考えをグループで交流しよう。

発問4 話し合い2
戦争でできなくなったこと↓かげお
くり
ちいちゃんの家族にとってかげお
りって何だろう

発問5 話し合い2
戦争がちいちゃんからうばったもの
を書こう

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

めあて

空しゅうのおそろしさを読み取るう。そして必死でにげるちいちゃんたちの気持ちを考えよう

文③7〜④

場面

(ちいちゃんのみ)

くうしゅうけいほうのサイレン

ちいちゃん「

(みんなのみ)

風の強い日でした。

風があつくなってきました

ほのおのうずが追いかけてきます

(みんなのみ)

あせるお母さんの気持ち

(みんなのみ)

ちいちゃんはお母さんとはぐれました

(ちいちゃんのみ)

「お母ちゃん、お母ちゃん」

今日の学習のまとめ

せんそうがちいちゃんからうばったもの

中心となる学習活動
空しゅうの様子(おそろしさの表現)をイメージ化し、必死になって逃げるちいちゃんに共体験する。

発問1 (ちいちゃんのみ)

くうしゅう警報が鳴って逃げ出すちいちゃん
の気持ちを考える。「逃げなくちやー」「こわいー」

発問2 (みんなのみ)

くうしゅう警報が鳴って逃げ出すちいちゃん
の気持ちを考える。「逃げなくちやー」「こわいー」

発問2 (みんなのみ)

空襲のおそろしさの表現を書き出す。

発問3 (みんなのみ)

あせるお母さんお気持ちが書かれた表
現を見つける。

発問3 (みんなのみ)

お母さんとはぐれたちいちゃんに声を
かけてみよう

(ちいちゃんのみ)(話し合い1)

お母さんとはぐれたときのちいちゃん
の気持ちを考えよう。話し合って共感し
よう。

発問4 せんそうがちいちゃんからうば
ったものを書きだそう

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

空しゅうのおそろしさを読み取る
う。そして必死でにげるちいちゃんた
ちの気持ちを考えよう

文⑳㉑(続き)

場面

暗い橋の下

「お母ちゃん」(ちいちゃんのみ)

」

でもその人はお母さんではありません
でした。

ちいちゃんの気持ち(みんなのみ)

(ちいちゃんのみ)

ちいちゃんはたくさんの人たちの中で
ねむりました

ちいちゃんの思い(ちいちゃんのみ)

今日の学習のまとめ

せんそうがちいちゃんからうばった
もの

中心となる学習活動
お母さんらしい人を見つけた場面を共
読させることで、ちいちゃんの強い願
いを読み取る。

発問1 (ちいちゃんのみ)
はぐれてからお母さんらしい人を見
つけたときのちいちゃんの気持ちを考
える

発問2 (ちいちゃんのみ)
見つけた人がお母さんでなかったち
いちゃんの気持ちを考える。

発問3 (みんなのみ)
暗い中で一人で眠っているちいちゃん
は寂しいのか考えよう。
(ちいちゃんのみ)(話し合い1)
ねむりながらちいちゃんは何を考
えていたのか考えよう。書いたら話し
合おう。

発問4 せんそうがちいちゃんからう
ばったものを書きだそう

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

めあて

ちいちゃんが最後まで願っていたものは何か考えよう

文 ㊦ ～ 120

場面(ちいちゃんのみ)

明るい光「まぶしいな」

戦争がちいちゃんからうばったもの
明るい空 それを最後に返してくれた

ちいちゃんの様子(みんなのみ)

暑いような寒いような

ひどくのどがかわいています

ちいちゃんに聞こえたもの(ちいちゃんのみ)

「かげおくりのよくできそうな空だなあ」お父さんの声(姿ではない)

「ね。今、みんなで作ってみましょうよ。」お母さんの声

聞いたちいちゃんの気持ち

「ひとつ、ふたあつ、みつ」

「ようつつ、いつつつ、むうつ」

「ななあつ、やあつつ、ここのうつ」

「とお」

白いかげが四つ。

それを見たちいちゃんの気持ち

ちいちゃんはどうなった(みんなのみ)

体がすきとおって ちいちゃんの死

空の上

ちいちゃんとみんなの気もちを比べる

今日の学習のまとめ

せんそうがちいちゃんからうばった

ものとうばえなかったもの

中心となる学習活動

空の色、家族、ここで戦争で奪われたものがかえってくる。しかしそれはちいちゃんの命が失われていくことだということをとらえる

発問1 (ちいちゃんのみ)

ちいちゃんい空とはなんの思い出か思
い出す。

発問2 (みんなのみ)

ちいちゃんが死にかけていて、幻覚を見
ていることをとらえる。

発問3 (ちいちゃんのみ)

明るい空とともにちいちゃんが失った
ものがどんどん返されていることに気
づく。

発問4 (みんなのみ)

家族に会えたちいちゃんはどうなった
のか、理解する。

発問5 (みんなのみ) ちいちゃんのみ)

ちいちゃんの気持ち
それを見ているみんなの気持ち

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ 作

めあて

最後の場面を読んで、前の場面との違いに気付く。

文 121～124

場面(みんなの目)

それから何十年。(今の世界)

青い空の下

ちいちゃんに最後に返されたもの

かげおくりってなんだろう

今日の学習のまとめ

ちいちゃんとお話してみよう

ちいちゃんはみんなに何をお願いするだろう

中心となる学習活動
平和の場面を読み、作者が何を言いたかったのか考える。

発問1 (みんなの目)
今の平和な世の中が訪れたことを理解する。

発問2 かげおくりって何だろう

発問3 ちいちゃんはみんなに何を願うだろうか
ちいちゃんをお願いしたいことを考えること、作者の言いたいことを理解する。